

ちた未来塾 第8回 平成29年1月24日(月) 18:00~20:10

会場：知多市市民活動センター交流室

「今の若者について」水野翔太さん(報告会のゲストスピーカー)

- ・若者の定義は35歳以下が対象だと思う。
- ・高校時代から地域のために自分ができるコトで活動していたが、当時は周囲から「意識高い系」と思われたくなくて内緒にしていた。
- ・社会課題を認識し意識的に活動する、れる若者。一方、何の興味もない若者の2極化している。
- ・名古屋市が、全国主要8都市に住む人を対象に行った「都市の魅力やイメージ」に関するアンケートで同市が最下位という結果を受けて、名古屋の魅力発信をしたい。また、地元名古屋でも地域のことを考える場づくりが必要だと考えている。
- ・大学1年の夏に「名古屋わかもの会議」(以下、なごわか)を立ち上げる。(進学をした東京では高校生から当たり前のように、社会や政治を考える場が多々ある。一方、名古屋ではそのような場はなく、地域や社会の事を知る場、考える場、発信する場を創っていくべきだと思ったため。)
- ・発足は10人で現在は水野さんが中心となって提案しながら週に1度20人(基本は全員集まらず、半分くらいですが…これもメンバーほぼ高校が違い、大学も違うため。)が名古屋で顔をあわせて、企画(背景、目的、ねらい、期待する成果)する。
- ・ここでは対話することを大切にしているので、毎週東京と名古屋間を往復する生活。ちなみにバイトの8割は交通費に消えてしまった。
- ・なごわかには、若者の声を聴く体制づくりを目指す。当初は議会などに活動を取り上げてもらい社会を変えたいと思ったが、今は年に1から2回自分たちで企画運営するイベントを通して発信している。
- ・外見が派手な若者もなごわかに参加してくれる。彼らもしっかり考えを持っている。
- ・今年は3月12日(日)10時から17時、名古屋能楽堂にてスポーツ(名古屋グランパス、名古屋ダイヤモンドドルフィンズ)、観光を通して名古屋の魅力発信を考える。
- ・なごわかには、自ら学んで発信して仲間づくりをする。行政主導の新城若者議会やNAGOYA学生キャンパス(ナゴ校)とは一線を画すと考えている。
- ・今困っていることは、後継者が見えないこと。大学生が中心なので卒業を機に離れてしまったり、後から参加知ったメンバーは関わり方が(自分と比べて)薄いと感じる。